

# 3月議会報告②

# 小矢部市の財政は大丈夫か

市の借金急増が財政破綻を招かないか、危惧の声が寄せられています。2018年度につき19年度も31億9810万円の借金をします。主なものは二つの統合（ども園建設に13億円余、(仮称)石動コミュニティプラザ建設に5.8億円、石動駅周辺整備に1.4億円、津沢あんどんふれあい会館建設に7千万円などです。

## 市債残高を増やさないと取り組むを共産党が提案

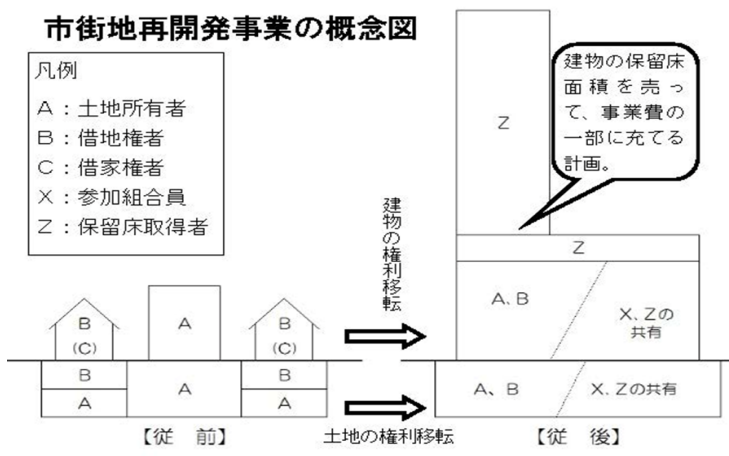
日本共産党は市債残高を増やさないと財政運営を求めています。そのためには必要な公共事業をしないこと、必要な事業でも翌年度以降に先送りして、市債残高を増やさないと。かつてクロスバンドの借金をそのようにして減らしてきた時期もありました(09年度頃まで)。



## 石動駅北エリア開発 財政的に大丈夫か?

「砂田市議」 石動駅北地区(旧八号線と線路の間)のエリアで、賑わい創出のための開発計画を検討することだが、費用は民間で負担するのか、市の財政負担はないのか。

## 市街地再開発事業を検討中



「産業建設部次長」 石動駅北地区は市街地再開発事業を主眼に検討していきたい。市街地再開発事業は土地とともに建物も整備していく立体的な整備事業である(概念図参照。実例 富山駅前(C)ビル。既存の店舗や新規に公共施設、ホテルなどが入る。総事業費107億円、面積0.8ha)。

地元負担だけでなく、国・県・市の補助といういろんなメニューがあるので、どんなやり方が有効か、今後検討していきたい。

## 公共施設の統廃合による税金の無駄づかい ! 城山まちなかトイレの解体

小矢部市は一部議員の意見を受けて城山町まちなか公衆トイレを解体し、(仮称)石動コミュニティプラザに組み込むことにしています。

「砂田市議」 1370万円ずつつくってから8年目、法定耐用年数24年の3分の1しか経過していない。新しいトイレを壊すのは、税金の無駄づかいでないか。

## ! おとぎの館図書館を廃止

おとぎの館図書館も議会の一部から新図書館をつくるなら二つも図書館が要らない」といわれて、市は廃止する計画です。

22年前に国の補助金1億1601万円を受けて建設しましたが、法定耐用年数38年まで16年も残っています。おとぎの館図書室は、親子連れを中心に年間2万8583人に利用され、3万2893冊の本が貸し出されています。

## ☆個人住宅の耐震化

木造住宅耐震化支援事業補助金を60万円から100万円に増額します。個人住宅の耐震化を促進するため、耐震設計から工事までが対象です。



## ☆単独浄化槽の転換を

「砂田市議」 生活雑排水の処理をしない単独浄化槽は2210件(下水道整備区域内には1756件、合併処理浄化槽整備区域内には454件)もあり、環境浄化に役立たない。単独浄化槽撤去補助金の利用がゼロで、その原因は撤去した単独浄化槽を最終処分場へ運ぶことが条件で、その費用がかなり高いからだ。この解決には、廃止浄化槽を

雨水貯留槽に活用するものを認めるなど、撤去補助金の適用条件を緩和が必要ではないか。

「産業建設部理事」 既存の補助制度の周知を図り、単独浄化槽の転換に努めるが、補助条件緩和や単独浄化槽の新たな活用策については、国内の状況を調査して、そのメリット、デメリットなどを検討してまいりたい。

## ☆インフルエンザ予防接種に引き続き助成

子どもたちへのインフルエンザ予防接種助成は2017年度から実施され、子育て世代に喜ばれています。接種率は2017年度が58.91%、18年度が58.71%でした。

予防接種の効果とともに、各学校での手洗いやうがいなどの励行も徹底されたのではないかと考えられます。

